

子育て家庭をみんなで応援しましょう



▶ 問い合わせ先＝健康推進課母子保健係・子育て世代包括支援センター(☎271581)

男性が育児に 参加しやすい環境を つくりましょう

女性が取得することが多い育児休業ですが、男性も取得できます。実際に男性が育児休業を取得した家庭からは、「産後の大変な時期に夫がいてくれて助かった」や、「子どもの成長を近くで見ることができて良かった」といった声が聞かれます。夫婦で、育児休業の取得について相談しておきましょう。

また、早く帰るのが難しい、仕事を休みにくい、という人は、休みの日や仕事が早く終わった日には、家事や育児に参加しましょう。

男性の育児休業の取得や、育児参加には、会社や周囲の理解が必要です。みんなで男性の育児を応援し、参加しやすい環境を作っていくことが大切です。



子育てに 困った時は相談を

市では、市民の皆さんが安心して子育てに取り組めるように、相談をはじめさまざまなサポートを行っています。子育てに困っている家庭を見かけたら、気軽にご連絡ください。

■市は、子育てに役立つ情報を発信しています

おおふなと子育て支援サイト「つばきっず」では、市内の子育て支援団体が行っているイベント情報等が確認でき、大船渡子育てアプリ「トントン」では、プッシュ型通知で子育てに役立つ情報をお知らせするほか、お子さんの成長を記録できる便利な機能もあります。



妊娠・出産は、女性にとって人生の大きな出来事の一つです。しかし、嬉しさの一方で、生活や体の変化がこころのストレスをもたらす時期でもあります。また、核家族に加え、新型コロナウイルス感染症の流行などにより、子育て家庭の孤立化が心配されています。家族みんなが母親のこころの健康について理解し、子育てに協力していくことが大切です。

子育て家庭の現状

昨今の祖父母世代は、就労、家族の介護、地域での役割があり、十分な支援が得られにくい状況にあります。加えて、新型コロナウイルス感染症の流行のため、里帰り出産ができないケースもあり、以前と比べて支援してくれる人が少ない状況で母親は子育てをしていますが。また、母親自身も少子化や核家族化のために子どもと触れ合う機会が少なく、育児についての知識・経験が浅い場合もあります。

こうした状況での子育ては、出産前後の女性のこころを不安定にする要因になり、この状態が続くと、自殺や子どもへの虐待の恐れ、子どもの精神障害、発達障害にもつながる可能性があります。

みんなで子育てに 取り組みましょう

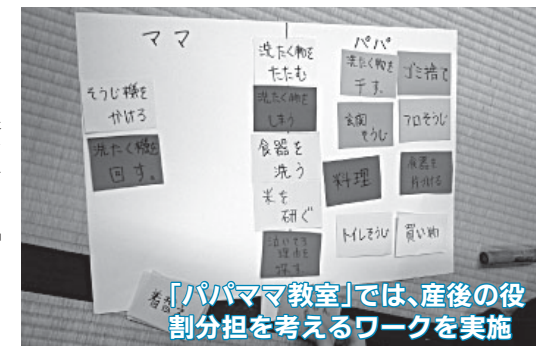
母親の育児負担が以前より増加している今こそ、父親や家族の協力が重要です。夫婦で話し合い、協力し合って家事や育児を行うことで、母親の負担が軽減されるだけでなく、家庭生活や夫婦関係が良好になり、母親の心の安定につながります。



令和2年度開催の「パパママ教室」

市では、妊娠中に夫や家族

子どもは日に日に成長するので、昨日できなかったことが今日ではできるようになります。育児に参加することは、日々の成長や変化に気づき、子どもを身近に感じるきっかけになります。早期から子育てに関わることは、親子の愛着関係が築かれやすいと言われています。



【パパママ教室】では、産後の役割分担を考えるワークを実施

子育ての相談先

■子どもの養育や発達に関する相談

家庭児童相談室(子ども課/☎内線194)

■妊娠、出産、子どもの健康に関すること
子育て世代包括支援センター(保健センター内/☎271581)



おおふなと子育て支援サイト つばきっず

市の子育てに関する行政サービスや、市内の子育て支援団体の活動情報を発信し、市内の子育て世帯を支援することを目的としたサイトです。



～妊娠から出産、子育てまでをフルサポート～ 大船渡子育てアプリ「トントン」



母子モ 検索 アプリストア



市は、令和3年6月から、妊娠や出産、子育てをサポートするための母子手帳アプリ「トントン」のサービスを開始しました。アプリ内には、妊娠・出産・子育てに役立つ機能がたくさんあります。

「出産後に必要になる届け出や手続きの情報を逃さず知りたい」や、「予防接種って種類が多くて複雑！もっと簡単にスケジュールを立てられたらいいのに…」など、妊娠中や子育てのお悩み解決に、ぜひご利用ください。

■お子さんの成長が記録できます

お子さんとの日々の思い出を写真とコメント

付きで記録でき、家族みんなで共有できます。

■地域の育児情報が届きます

市内の妊娠・子育てに関するイベントや、アドバイスなどの情報が届きます。

■予防接種日程も簡単に管理

お子さんの誕生日から、最適な接種日を自動で表示します。また、接種予定日が近づくと、プッシュ通知でお知らせします。

▷利用料＝無料

▷問い合わせ先＝子育て世代包括支援センター(☎271581)